

「鉄骨切断機」、「コンクリート圧砕機」及び「つかみ機」  
による労働災害の発生状況について

平成22年及び平成23年におけるアタッチメントによる新たな解体用機械の種類別の災害発生状況は表1のとおり。

アタッチメントによる新たな解体用機械の種類別で比較すると、「つかみ機」による災害が全体の78.5%（228人中179人）を占めていた。「鉄骨切断機」による災害は全体の7.0%（228人中16人）であり、「コンクリート圧砕機」による災害は全体の4.3%（228人中10人）であった（3種のどれかが不明なものは、10.1%）。

なお、ブレーカ及びその他の解体作業に使用される機械の災害発生状況は、表1-2のとおりである。

表1 アタッチメントによる解体用機械の種類別の災害発生状況  
(平成22年及び平成23年)

アタッチメントによる新たな解体用機械の種類別	被災者数（人）		合計（人）	構成比（%）
	平成22年	平成23年		
つかみ機	79	100	179	78.5
鉄骨切断機	5	11	16	7.0
コンクリート圧砕機	5	5	10	4.3
不明	18	5	23	10.1
合 計	107	121	228	100

1-2 ブレーカ及びその他の解体作業に使用される機械の災害発生状況  
(平成22年及び平成23年)

アタッチメントによる機械の種類別	被災者数（人）		合計（人）	構成比（%）
	平成22年	平成23年		
ブレーカ	10	5	15	88.2
その他	1	1	2	11.8
合 計	11	6	17	100

表2に作業等別の災害発生状況を示す。「クレーン作業中」、「つかんだ物が落下」、「つかんだ物に当たる」、「アタッチメントに挟まれた」の4つの作業等で災害全体の半数を占めている。

表2 作業等別の災害発生状況（平成22年及び平成23年の2年間）

作業等	被災者数 (人)	構成比 (%)
クレーン作業中	34	15
つかんだ物が落下	29	13
つかんだ物に当たる	29	13
アタッチメントに挟まれた	28	12
アタッチメント交換作業中	26	12
破碎して飛来	14	6
アタッチメントに当たる	11	5
アタッチメント修理中	5	2
機械から転落	5	2
機械が転倒	4	2
後退中にひかれた	3	1
解体していた物の一部が飛来	3	1
斜面から転落	3	1
機械にひかれた	2	1
その他	32	14
合 計	228	100

表3及び表4は、平成22年及び平成23年の作業等別の災害発生状況をアタッチメントによる新たな解体用機械の種類別に示したものである。

表3 作業等別の災害発生状況（平成22年）

作業等	つかみ機 (人)	鉄骨切 断機 (人)	コンクリート 圧砕機 (人)	不明 (人)	計 (人)	構成比 (%)
クレーン作業中	17	0	1	2	20	18.7
つかんだ物に当たる	12	0	0	0	12	11.2
アタッチメント交換作業中	6	0	0	4	10	9.4
破碎して飛来	6	0	1	3	10	9.4
アタッチメントに挟まれた	5	1	2	1	9	8.4
つかんだ物が落下	7	0	0	0	7	6.5
アタッチメントに当たる	6	0	0	0	6	5.6
機械から転落	3	1	0	0	4	3.7
アタッチメント修理中	3	0	0	0	3	2.8
機械が転倒	1	0	0	1	2	1.9
後退中にひかれた	0	0	0	2	2	1.9
その他	13	3	1	5	22	20.6
合計	79	5	5	18	107	100

表4 作業等別の災害発生状況（平成23年）

作業等	つかみ機 (人)	鉄骨切 断機 (人)	コンクリート 圧砕機 (人)	不明 (人)	計 (人)	構成比 (%)
つかんだ物が落下	20	1	1	0	22	18.2
アタッチメントに挟まれた	18	1	0	0	19	15.7
つかんだ物に当たる	16	0	1	0	17	14.0
アタッチメント交換作業中	12	2	1	1	16	13.2
クレーン作業中	10	3	0	1	14	11.6
アタッチメントに当たる	5	0	0	0	5	4.1
破碎して飛来	2	0	1	1	4	3.3
解体していた物の一部が飛来	2	0	1	0	3	2.5
斜面から転落	2	1	0	0	3	2.5

アタッチメント修理中	2	0	0	0	2	1.7
機械が転倒	1	0	0	1	2	1.7
機械にひかれた	1	1	0	0	2	1.7
機械から転落	1	0	0	0	1	0.8
後退中にひかれた	1	0	0	0	1	0.8
その他	7	2	0	1	10	8.2
合計	100	11	5	5	121	100

表4の作業等を災害の状況に対応して整理し直すと表5のとおりである。

表5 アタッチメントによる解体用機械の種類別、災害の状況別の災害発生状況（平成23年）

災害の状況	つかみ機 (人)	鉄骨切断機 (人)	コンクリート 圧砕機 (人)	不明 (人)	合計 (人)	構成比 (%)
アタッチメントに挟まれる	27	3	0	0	30	24.8
掴んだ物等が落下	22	2	1	1	26	21.5
アタッチメント、掴んだ物等に当たる等	22	1	1	1	25	20.7
アタッチメント交換作業、修理中	14	2	1	1	18	14.9
破碎して飛来、掴んだ物が飛来	5	1	2	1	9	7.4
機械が転倒、転落	3	1	0	1	5	4.1
機械に轢かれた	3	1	0	0	4	3.3
機械から転落	1	0	0	0	1	0.8
解体作業中飛来	3	—	—	—	3	2.5
合計	100	11	5	5	121	100

資料出所等：

平成22年及び平成23年の労働者死傷病報告データのうち、全産業における「掘削用機械」及び「解体用機械」、「その他の建設機械」に関する休業4日以上労働災害（合計2,175件）を分析したものである。